



移住者名	香川 雅仁
都道府県	山口県 平郡島
移住先	埼玉県 深谷市⇒山口県 柳井市
移住年	2016年
職業	会社員⇒準公務員
家族構成	1人
移住形態	1ターン

Q. 移住したきっかけは？

地方に対して貢献をしていきたいと模索するなかで、地域おこし協力隊としての活動に興味を持ちました。そこで全国の協力隊が東京に集うイベントに足を運びました。北海道から沖縄までの各地方自治体ブースに目を通しているうちに、離島であること、コンビニ等がないことなど、自身が経験したことのない非常に特殊な環境であることに興味を持ち、平郡島のブースの方と何度か話し合うなかでだんだんと惹かれていき応募しました。また、実際に就任する前に一度現地に足を運んで見学をしました。そこで島の自治会や運営側に立つ人と知り合えたこともよかったです。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

これまで料理をすることがあまりなかったので、島生活を始めるにあたって毎日調理しなくてはならなくなることに不安を抱えていましたが、実際にはなんとかなっています。簡素なものが多いですが、思いついたもので変化を加えてみたり、微々たるものですが、変化もしています。また、午前中の便が朝 6:00 しかないため、本土に出る際に寝坊しないか不安でした。しかし、一年半いますが一度もありませんし、島にいる中学生はほぼ毎日それに乗って本土の学校に通っていることを考えると、なんとかなるようです。

Q. 移住して良かったことは？

都会で浴びてきた常識というものに、あまり価値を感じなくなりました。島に移住してからできた時間を使って、狩猟免許を取ってみたり、着物を嗜んでみたり、ギターに取り組んでみたり、釣りもはじめて、自身で釣った魚を塩焼きにして晩酌したりと自身の中で思いついた遊びを取り組んでいます。また、世間の情報にあたる頻度は減ったかもしれませんが、その反面、読書(本屋がなくても電子書籍で可能)をしてみたり、有識者の発する情報サイトに接する時間が格段に増えました。大勢にとっての当たり前ではないのかもしれませんが、自分の人生で意義を感じることを大切に、それを素直に表現していきたいと思っています。また、そういう人生観を持たせたのも島生活のおかげかもしれません。



Q. 移住を考えている方へメッセージ

平郡島は山口県の有人離島で最大規模の面積を誇り、人口は約 350 人ほど。本土からのフェリーは日に 2 便です。小学校は東地区に 1 校あり、児童数は 6 人。買い物場所は商店と農協があります。また、通販サイトを利用する方もいます（離島料金は掛からないです）都会とは違い静かで落ち着いており、多くの草木がなびき海のさざ波や音が島を包んでいます。島での娯楽は、釣り、BBQ、ランニング、公民館でのカラオケ、バレーボール、ソフトボール、バトミントン、卓球、軽音楽、アームレスリングなどで、都会のようにお金を払って楽しいものを提供してもらうのではなく、島民同士で協力して遊んでいます。アウトドア派もインドア派も自分の時間を過ごすことが可能だと思います。島生活に興味を持たれている方は是非足を運んでみてはいかがでしょうか。歓迎いたします。